http://www.city.toon.ehime.jp/

広報

とうおん

PUBLIC RELATIONS

2010 APR No.66

Contents

P 2 平成22年度　施政方針と予算
P 6 消防団員の誇りを胸に
P 8 ４月から子ども手当制度が始まります

平成22年4月1日
4
2010

TOON いのち輝き　緑あふれる　東温市

平成22年度 施政方針と予算

いのち輝き緑あふれる東温市の平成22年度当初予算が、3月市議会定例会で議決されました。
新年度のまちづくりの基礎となる予算の編成方針や特徴について説明します。

私は、市民の皆様から市政を負託され、就任以来「小さくてもきらりと光る、住んでみたい、住んでよかった」まちづくりを市政運営の基本姿勢として、市民の目線に立った各種施策の推進に全身全霊取り組んでおります。

この間、順調に市政が推進できましたのも、議会や市民の皆様のご理解とご協力の賜物と、改めて心から感謝いたしております。今後も、引続き東温市総合計画に掲げる「いのち輝き　緑あふれる　東温市」の将来像の実現に向けて、全力を注いでまいります。

さて、一昨年来の世界的な経済不況は、我が国の経済にも深刻な影響を与え、国民生活に暗い影を落としております。こうした中、昨年9月に「自由で安心な社会の実現をめざして」の基本理念のもと、税金のムダ使いを一掃し、国民生活を第一に考える政策をマニフェストに掲げた民主党が、衆議院選挙で大勝し厳しい経済状況の中で「政権交代」を成し遂げました。

新政権は、22年度予算の編成に際して、事業仕分けの公開や既定公共事業の凍結により、マニフェスト実現に向けた政策転換を実行しており、公共事業関係費を前年比1兆2,970億円減額する一方、社会保障関係費を2兆4,342億円、文教及び科学振興費を2,756億円、地方財政対策としては、地方交付税交付金を前年比1兆1,000億円増額、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は、過去最高の24兆6,000億円とする措置等も講じております。

また、農道整備事業や森林整備支援事業を廃止する一方で、農山漁村地域整備交付金（仮称）の創設や、下水道事業・まちづくり関連事業を社会資本整備総合交付金（仮称）に統合する方針等、新しい政策も示しておりますが、詳細については未確定な状況であるため、今後、状況を確認しながら順次必要な予算対応を行ってまいりたいと考えております。

一方、愛媛県におきましては、地方交付税は増額（2.2%）されるものの、景気低迷により法人関係税の大幅な減少（14.9%）が見込まれることから、平成18年度に決定した「財政構造改革基本方針」を22年度まで延長するとともに、深刻な状況にある景気・雇用対策をはじめ、地域活性化へ「結びの重点対策」として50億円を確保し、県民生活の安全・安心の確保などに、限られた財源を最大限に有効活用するなど、加戸県政3期12年の総仕上げとして、明るい愛媛の未来に向けての展望が期待できる予算編成が行われております。

さて、東温市の財政見通しですが、歳入面では地方交付税の増額が見込まれるものの、長引く景気低迷の影響による個人市民税や法人市民税の減収が見込まれるほか、エコカー減税の導入に伴う自動車取得税交付金の減収、国・県補助金の廃止や減額、また補助金の交付金化などにより、先々の見通しが極めて不透明になっております。

一方、歳出面では、扶助費など義務的経費や特別会計への繰出金の増加、また高水準で推移する公債費の増嵩が見込まれ、これらの財源不足に対しては、地方財政計画に基づく臨時財政対策債

平成22年度 当初予算の内訳

一般会計	132億5,400万円
特別会計	84億2,540万8千円
企業会計	17億8,909万8千円
総　額	234億6,850万6千円

の増額や財政調整基金の取り崩しにより対策を講じてまいります。

このように厳しい財政状況ですが、平成22年度の予算編成にあたっては、国の2次補正予算を踏まえた3月補正予算における対応を含めて、地域経済の活性化と市民生活の安心確保を図るため、切れ目のない対策を講じております。

更に、時代や住民のニーズに的確に対応するとともに、より持続可能な財政構造を構築するため、引続き事務事業に係る経常的経費の抑制や、補助金制度の見直しを継続するなど行財政改革の推進を図りながら、政策の「選択と集中」による財源の重点的・効率的配分に努め、可能な限り市民福祉の維持・向上に配慮した予算編成といたしております。

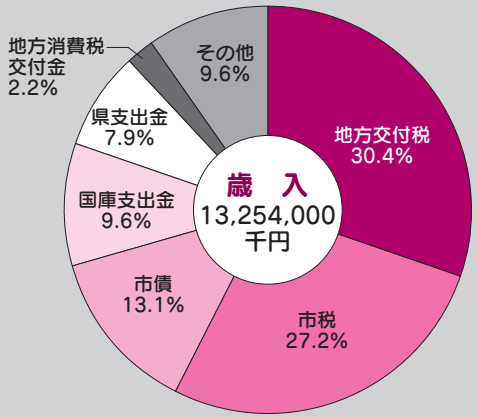
この結果、平成22年度の当初予算の総額は、一般会計 132億5,909万8千円、特別会計 84億2,540万8千円、企業会計 17億8,234億6,850万6千円で、前年対比 7億1,295万2千円、3.1%の増額予算となっております。

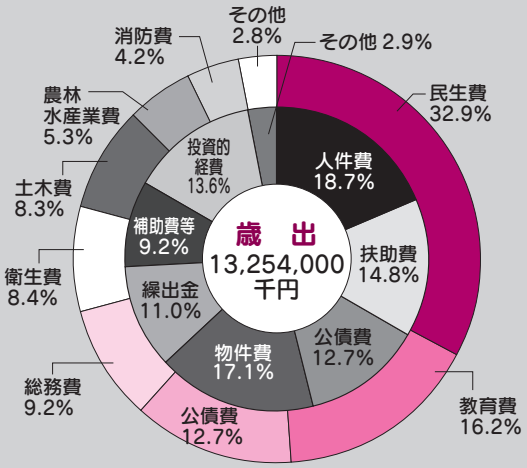
その主な要因は、子ども手当の創設などにより義務的経費の扶助費が大幅に増えたこと。また、川内・重信両中学校改築工事などの投資的経費が増加したことによるものであります。

平成22年度における市政運営の基本的な方針は、東温市の最上位計画である「東温市総合計画」の将来像、「いのち輝き 緑あふれる 東温市」の実現のため、すべての分野にわたって「環境と健康の重視」、「東温らしさの創造と発信」、「協働体制と自立力の強化」の3つを基本原則とし、緑あふれる自然の中で、子どもも高齢者も、住む人も訪れる人も、産業も文化も、本市のすべての〝いのち〟が、常にいきいきと輝いていることを実感できるまちの実現を目指してまいります。

いずれにいたしましても、先の見えない非常に不安定で厳しい時代でありますが、私をはじめ職員一人ひとりが、襟を正し、改めて自らの役割を認識するとともに意識改革を行い、これまで以上に、コスト意識を持ち、真に必要な事業を選択し、適正な人員と予算を投入する行財政運営に努め、時代の要請や市民の負託に応えられる市役所づくりに努めてまいりますので、市民の皆様のより一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

一般会計予算の状況





会計別予算の状況

会計別		平成22年度当初予算額(A)	平成21年度当初予算額(B)	比較 (A)-(B)
一般会計		13,254,000	11,570,000	(14.6) 1,684,000
特別会計	国民健康保険	3,676,140	3,515,249	(4.6) 160,891
	老人保健	6,170	38,590	(△84.0) △ 32,420
	後期高齢者医療	348,062	353,175	(△1.4) △ 5,113
	介護保険	2,935,267	2,873,939	(2.1) 61,328
	ふるさと交流館	212,247	209,570	(1.3) 2,677
	簡易水道	1,965	1,565	(25.6) 400
	農業集落排水	149,225	150,439	(△0.8) △ 1,214
	公共下水道	1,096,332	1,518,184	(△27.8) △ 421,852
	計	8,425,408	8,660,711	(△2.7) △ 235,303
企業会計	水道事業会計	1,789,098	2,524,843	(△29.1) △ 735,745
	計	1,789,098	2,524,843	(△29.1) △ 735,745
合計		23,468,506	22,755,554	(3.1) 712,952

平成22年度当初予算

◎：新規事業　○：大幅増額事業　（単位：千円）

4 創造性と活力に満ちた元気産業のまち

ほ場整備や、ため池・農業用用排水路等の土地改良事業による農業基盤の整備を行うとともに、農業の担い手となる認定農業者の育成と確保に努めます。

中小企業者と農林業者が産業構造の枠を越えて行う、新商品や新サービスの開発、販路拡大に向けた取り組みに対して支援します。

≪農業≫	
中山間地域直接支払事業	94,354
市・県単独土地改良事業助成	14,500
県営土地改良事業負担金	30,544
道後平野土地改良区負担金	18,805
農地・水・環境保全向上対策事業	28,508
○農山漁村活性化プロジェクト支援事業	40,568
とうおんブランド販路開拓支援事業	1,000
≪雇用≫	
緊急雇用創出事業	38,706
ふるさと雇用再生事業	10,548
≪林業≫	
造林事業助成	3,790
林道改良事業	3,050
市単独林道改良事業助成	5,000
森林環境保全整備事業	15,000
≪商工≫	
商工会助成	12,100
中小企業振興資金預託	35,000
≪観光≫	
観光協会助成	3,800
ふるさと交流館運営[特別会計]	212,247

5 自然と調和する快適な都市基盤のまち

愛媛大学医学部周辺地域において快適な住環境と魅力ある都市景観を創出するため、「まちづくりガイドライン」の作成に取り組むとともに、志津川地区土地区画整理事業への支援を行います。

各集会所等に設置している地域イントラネットを活用し、各種映像配信や災害時を想定した情報伝達訓練などに積極的に取り組みます。

≪道路・交通≫	
生活交通バス路線運行助成	19,876
◎地域公共交通活性化事業	10,591
道路橋梁維持補修事業	128,459
道路橋梁新設改良事業	14,850
道路改良事業助成	20,226
地方特定道路整備事業	57,613
県営土木事業負担金	13,026
≪市街地・住宅≫	
◎愛大医学部周辺整備事業	138,056
地域住宅交付金事業	27,280
木造住宅耐震診断費助成	600
アスベスト対策事業費助成	400
≪情報≫	
地域イントラネット運用管理費	14,972
≪土地利用≫	
国土調査事業	81,661

6 みんなでつくる協働・自立のまち

交流の場、活動の拠点である集会所等の整備に対して助成を行うとともに、市内各地で展開されているコミュニティ活動を更に推進します。

平成22年8月23日から市役所窓口でパスポートの申請や受取りが、円滑に実施できるよう取り組みます。

≪人権・男女共同≫	
福祉館管理運営費	7,714
人権対策関連	5,273
人権教育協議会助成	3,400
男女共同参画事業	100
≪コミュニティ≫	
コミュニティ活動推進事業	42,837
コミュニティ施設整備助成	14,017
電源立地地域対策交付金事業	5,735
≪協働のまちづくり≫	
広報事業	7,023
区長会運営費	4,709
≪自治体経営≫	
行政評価システム構築事業	945
人事評価制度導入事業	1,600

6つの政策目標の主な内容は以下のとおりです。

1 地球と共生する快適環境のまち

地球温暖化対策では「太陽光発電システム」や「太陽熱高度利用」などの対策機器の設置に対する助成を引き続き行うとともに、ストックヤードを建設し循環型社会のまちづくりに取り組みます。
ごみ処理体制の充実や不法投棄防止対策、水道事業、公共下水道事業を推進します。

≪環境≫	
省エネ推進事業	4,851
○太陽光発電システム等の設置助成	19,300
美しいまちづくり推進事業	786
エコ・キッズ支援事業	1,994
≪ごみ≫	
指定ごみ袋配布	9,057
不法投棄・環境パトロール事業	5,230
ごみ収集事業	206,305
清掃施設管理運営費	73,855
◎ストックヤード建設事業	44,513

≪上下水道≫	
上水道事業〔企業会計〕	555,478
川内地区統合簡易水道事業〔企業会計〕	1,233,620
合併処理浄化槽設置助成	25,185
公共下水道事業〔特別会計〕	1,096,332
集落排水事業〔特別会計〕	149,225
≪消防・防災≫	
浸水対策事業	33,522
がけ崩れ対策事業	20,000
小型動力ポンプ積載車購入	5,408
自主防災組織育成事業	2,746

2 みんなが元気になる健康福祉のまち

障害者福祉では、安心して生活できる支援体制の整備を行うとともに、高齢者福祉では新規介護サービス事業所整備に対し助成を行います。
健康づくりでは、きめ細やかな保健サービス提供や各種健康診査などを実施します。
子育て支援では、子ども手当の給付や保育所の園庭芝生化、放課後児童の健全育成のため子どもの居場所づくり事業を実施します。

≪障害者福祉≫	
日中一時支援事業	14,130
障害者自立支援特別対策事業	23,675
介護給付費	288,000
≪子育て支援≫	
◎子ども手当	620,780
こんにちは赤ちゃん事業	2,621
◎子どもの居場所づくり事業	5,825
保育所運営管理費	253,892
◎保育所園庭芝生化事業	1,650
乳幼児医療費助成	73,757

≪健康づくり≫	
健康診査・女性特有等のがん検診	59,743
各種予防接種事業	51,323
≪高齢者福祉≫	
長寿祝金支給事業	9,134
地区敬老会事業助成	14,400
特別養護老人ホーム建設助成	43,009
◎介護基盤緊急整備等事業助成	154,000
◎介護施設開設準備特別対策事業助成	33,600
後期高齢者医療[特別会計]	348,062
介護保険事業[特別会計]	2,935,267

3 心豊かに学びあう文化創造のまち

学校教育では、小中学校の耐震補強及び改築を行い安心で安全な学習環境の整備を引き続き行います。
生涯学習では、市民の学習ニーズに応えるため各教室や講座を開催して、より一層の充実を図ります。また、移動図書館車の更新を行い、市民の学習機会の充実に努めます。

≪学校教育≫	
特別支援教育事業	28,690
小学校施設改修事業	8,646
◎中学校改築事業	1,018,258
≪スポーツ≫	
各種スポーツ大会開催事業	3,285
市民大運動会開催事業	3,798
市体育協会助成	1,600
体育施設管理運営費	52,943
○体育施設改修事業	56,000

≪生涯学習≫	
公民館活動費	3,374
公民館事業	1,343
分館活動事業助成	3,600
図書館図書整備	8,561
◎移動図書館車購入	12,878
市民大学開催事業	800
各種講座開催事業	980
文化財保護事業	12,379
◎文化財整備事業（向井古墳史跡整備）	3,663

平成22年 東温市消防出初式

消防団員の誇りを胸に

市民の生命と財産を守る使命

「自分たちの地域は、自分たちで守る」という郷土愛で活動する消防団員。

消防団は、火災における消火活動はもとより、台風や地震などの自然災害での防災活動など多岐にわたっています。

最近では、昨年7月に発生した中国・九州北部豪雨、8月の台風第9号による大雨などの風水害における消防団員の献身的な活動が記憶に新しいところです。

それは、消防団員が地域に密着しており、地域情報を十分に把握していることが、大規模災害時に特に能力を発揮しているものだと考えられています。

平成21年版の消防白書によると、全国の消防団員数は885,394人となっており、東温市では市内6分団に624名の消防団員が所属しています。

3月7日、東温市消防団の恒例行事である消防出初式が開催されました。

当日はあいにくの雨模様の天候となりましたが、ツインドーム重信には、消防団員をはじめ東温市消防本部や県内の消防関係者など約600名が参加しました。

式典では、消防活動に功績のあった団員に対し、県知事表彰をはじめ勤続章や功績章などの章が贈られ、受賞者を代表して東温市消防団副分団長の西森敏郎さんが、「本日の受賞を期に、消防人として、なお一層の技術の練磨と精進にまい進することを誓います。」と謝辞を述べ、消防の使命を誓いました。

世界的な気候変動による自然災害や毎年のように発生する地震災害など、消防団の果たす役割は大きくなっていますが、さまざまな課題も抱えています。

平成21年版消防白書によると、10年前に比べ消防団員数は7.5%減少し、平均年齢では、2歳上昇していることがわかります。

このような状況のなかで、消防団の組織の活性化を図ろうと、女性消防団員を採用しようという動きが全国的に広まっています。

東温市消防団でも、現在、24名の女性消防団員が誕生し、火災予防啓発活動、自主防災組織への指導などを実施しています。

安心・安全のまちづくり

東温市消防団では、現在24名の女性消防団員が在籍し、女性ならではの視点を生かしながら、火災予防啓発活動、救命講習応急手当普及員や自主防災組織への指導などの幅広い活動を行っています。これまでの消防団は男性中心の組織でしたが、時代に即した新しい力として、その活動に女性の能力を活用することが不可欠になっています。

「男性では気付きにくいこと、女性ならではの視点を大切にしていきたい。」優しさと強さを兼ね備えた女性消防団員は、その思いを胸にしています。

「消防団に入って、地域の人たちと気軽に話ができるようになった。」とある若い消防団員が話してくれました。

東温市消防団には、自ら率先して地域を守るという使命を受け継ぐ若い団員がいます。消防団員になるということは、地域とのつながりを持ち、地域のために自分の力を尽くすことでもあるのです。

万が一、火事や災害が発生した場合、自分たちの地域に消防団員がいるということは、どんなに心強いことでしょうか。

消防団員は、それぞれ本業を持ちながら、いざという時は臆することなく現場へ向かいます。

そこには、地域への限りない愛情と尊い使命感が宿っています。

平成22年 東温市消防出初式　被表彰者名簿

（順不同・敬称略）

愛媛県知事表彰　功労章
第１分団　副分団長　西森　敏郎
第６分団　分団長　佐々木義廣
第２分団　部　長　八塚　幸重
消防本部　消防司令　泉　忠厚

愛媛県消防協会長表彰　功績章
第５分団　部　長　中島　幸一
第５分団　部　長　菅野　逸志

愛媛県消防協会長表彰　勤続章
第６分団　部　長　曽我部　茂
第２分団　班　長　越智　康生
第２分団　団　員　玉乃井　浩
第２分団　班　長　渡部　剛士
第２分団　班　長　佃　一彦
第２分団　団　員　井門　政之
第３分団　班　長　杉木　和重
第３分団　団　員　森　英明
第３分団　班　長　丹生谷　衛
第３分団　団　員　越智　博伸
第３分団　団　員　永野　浩二
第４分団　団　員　松本　則一
第５分団　団　員　河端　徳明
第５分団　団　員　富久　大輔
第５分団　団　員　渡部　利春
第６分団　団　員　小倉　眞昭
第６分団　団　員　宇和川　正
第６分団　団　員　近藤　大作
第６分団　班　長　菅野　林次
第６分団　団　員　髙須賀　惠
第６分団　団　員　梅木　宏

愛媛県消防協会長表彰　規律章
第５分団　班　長　杉原　学
第２分団　団　員　渡部　良正
第２分団　団　員　大西　強

愛媛県消防協会長表彰　親子消防団員
第５分団　副分団長　渡部　義友
第５分団　団　員　渡部　竜也

消防団員家族内助の功労者
第６分団　杉原孝団員の奥様
杉原ひろ子様

東温市長表彰
第３分団　団　員　野中　茂喜
第１分団　団　員　本藤　修一
第１分団　団　員　波多野彰宣
第１分団　団　員　片坐　康弘
第１分団　団　員　池田　光治
第１分団　団　員　多田　宏二
第２分団　団　員　門部　知史
第２分団　団　員　安倍　辰也
第２分団　団　員　村上　啓司
第２分団　団　員　大北　英俊
第２分団　団　員　明賀　勝秀
第２分団　団　員　束村　知重
第２分団　団　員　八塚　英樹
第２分団　団　員　明賀　良和
第２分団　団　員　牧　政範
第２分団　団　員　由井　良雄
第２分団　団　員　戒能　久志
第２分団　団　員　川本　旭
第３分団　団　員　菅能　一志
第３分団　団　員　森　計次
第３分団　団　員　丹生谷静雄
第３分団　団　員　大西　裕
第３分団　団　員　大森　忠昭
第３分団　団　員　野首　俊行
第３分団　団　員　武智　弘晃
第３分団　団　員　高須賀直登
第４分団　団　員　村尾　明彦
第４分団　団　員　高須賀博文
第５分団　団　員　八木　研二
第５分団　団　員　谷口　数彦
第５分団　団　員　名智　龍男
第５分団　団　員　佐伯　真司
第５分団　団　員　熱田　久
第５分団　団　員　正岡　勉
第６分団　団　員　近藤　昭宏
第６分団　団　員　松田　英治
第６分団　団　員　中島　芳彦

消防庁長官表彰　永年勤続功労章
第５分団　分団長　渡部　英樹

日本消防協会長表彰　表彰旗
東温市消防団

日本消防協会長表彰　功績章
団本部　方面隊長　森　光夫

日本消防協会長表彰　精績章
第１分団　分団長　渡部　賢二
第４分団　分団長　髙市　富男

日本消防協会長表彰　勤続章
第１分団　部　長　岡本　光
第３分団　班　長　岩田　雄次
第５分団　班　長　菅野　和徳
第５分団　班　長　林　宏保
第５分団　団　員　澁谷　忠良

平成22年4月から

子ども手当制度が始まります！

平成22年度より、これまでの児童手当に代わり、子ども手当の制度が開始されます。新たな制度の概要は、次のとおりです。

■制度の目的

子ども手当は次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援することを目的としています。

■支給対象

中学校修了前までの子ども（15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童）を養育している方に支給されます。

■支給額

子ども1人につき
月額13,000円

■支払時期

原則として、2月、6月、10月にそれぞれの前月分までを支給

■手続きの方法

◇平成22年度に中学校1年生までの児童がいる保護者で、平成21年度に児童手当を受給されていた方は、特段の手続きをする必要はありません。

◇平成22年度に中学校2、3年の児童がいる保護者で、平成21年度に児童手当を受給していた方は、「額改定請求書」の提出が必要です。

◇平成22年度に中学校2、3年の児童がいる保護者で、平成21年度に児童手当を受給していない方は、「認定請求書」の提出が必要です。

◇これまで所得制限等により児童手当を受給していない保護者の方は、「認定請求書」の提出が必要です。

※対象となる方へ各請求書を4月中に送付する予定です。詳細は送付書類に同封されている案内をご確認ください。

■認定請求書に必要な書類

◇健康保険被保険者証の写し
（国民年金以外に加入の場合）

◇子ども手当の振込先口座がわかるもの

※手当の請求者の名義のものに限ります。

このほかにも、その他事情により必要書類の提出を求めることがありますので、ご注意ください。

なお、制度創設に伴う新規・額改定請求は、平成22年9月30日まで受け付けたものに限り、特例的に4月1日（または支給要件に該当した日）にさかのぼって支給されます。

■問い合せ先

市役所　社会福祉課
子育て支援室
（TEL964・4406）

水道施設が完成しました！！

東温市では、給水人口の増加に伴う給水量の不足、施設の老朽化による維持費の増加、水源水質の悪化、また、水道未普及地域の解消を図るため、平成12年度より整備を進めてまいりました重信地区統合簡易水道事業が平成21年度末をもって完了しました。

この事業は、5つの簡易水道の統合と未普及地域の解消を図り、重信地区上水道（計画給水人口21,300人、計画1日最大給水量12,400㎥）とするもので、水源は北吉井地区の4水源（予備水源含む）と、南吉井地区の8水源（予備水源含む）を整備し、浄水場は北吉井地区（1日処理量2,000㎥）と南吉井地区（1日処理量10,400㎥）の2箇所にセラミッ

行政改革

補助金の見直しについて

東温市では、行政改革の一環として、補助金の見直し作業を実施しました。

今回の見直しは、

◆補助金として「税金」を投入することの必要性・妥当性

◆補助金の適正な執行管理と適切な受益者負担（会費を含む）の導入

などの観点から実施したもので、該当する団体ごとに状況を把握した上で、個別に対応を検討しました。

また、次の事項に該当する団体には、22年度から補助金の交付停止や減額をお願いしています。

◆補助金額に見合った活動が行われず、過大な繰越金が計上されている

◆活動内容が団体維持に限定されており、広く市民に還元されていない

◆毎年、過大な視察研修旅費や会議費、食糧費が計上されている

◆補助金が団体役員への報酬や手当、また会員相互の慶弔費に充当されている

◆補助金が団体の下部組織へ再分配され、使途・収支が明確にされていない

◆他の団体と比べて著しく会費単価が低く、補助金の占める割合が高い

◆近隣自治体の補助内容と比較した場合に、本市の補助金額が突出している

なお、見直しに伴う減額幅が大きく、単年度での減額に馴染まず、活動に支障をきたす恐れがあるものについては、激変緩和措置として22年度の減額幅を圧縮するとともに、23年度以降も引き続き減額を継続することとしています。

また、各種事業補助金につきましては、総額を抑制する観点から23年度予算編成に向けて見直し検討を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

◆問い合せ先

市役所　企画財政課

（TEL964・4401）

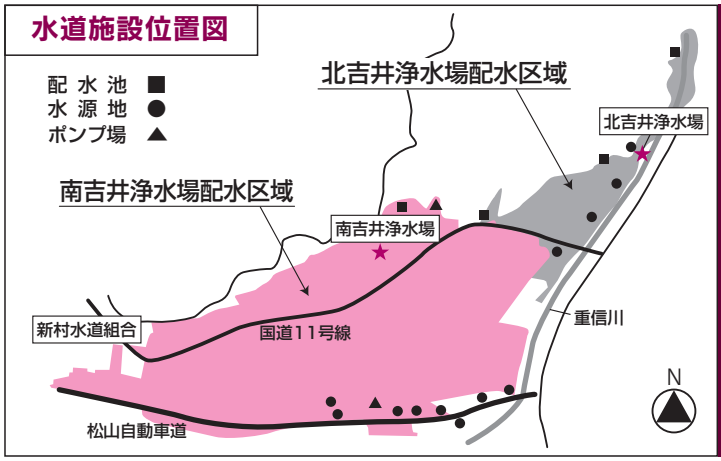
■補助金を減額する事業

名　称	減額（円）
松山南交通安全協会支部	250,000
国際交流サロン	120,000
日中交流アカシアの会	30,000
交番連絡協議会	100,000
自衛隊父兄会	50,000
きらり東温	100,000
就労支援グループドリーム	250,000
母子寡婦福祉会	100,000
市戦傷病者会	30,000
福祉電話	40,000
老人クラブ活動支援	180,000
商工会	50,000
産業まつり	250,000
人材育成支援事業	115,000
市観光協会	100,000
生活研究協議会	30,000
川上肉用牛部会	50,000
東温みのり会・川上生産組合	100,000
林業研究会	150,000
肉用牛導入利子補給	20,000
農業用廃プラ適正処理	140,000
有害鳥獣捕獲事業	150,000
少年健全育成事業	100,000
進路指導費	6,000
文化協会	90,000
婦人会	60,000
ＰＴＡ連合会	100,000
ＳＡＲＡ	200,000
体育協会	100,000
スポーツ少年団	37,000
指定文化財保存	50,000
減　額　合　計	3,148,000

■補助金を増額する事業

名　称	増額（円）
地区防犯灯設置事業	70,000
シルバー人材センター	32,000
障害者タクシー利用助成	110,000
地区敬老会	300,000
造林事業	690,000
小中学校：対外試合校外活動	575,000
私立幼稚園就園奨励費	862,000
全国大会出場激励金	400,000
増　額　合　計	3,039,000

水道施設位置図



ク膜ろ過装置を設置し、併せてステンレス製の配水池や、耐震型の導水管、送水管、配水管の整備を行い、経営の一元化により効率的な管理・運営を行うことで、地域住民に安全で安定的な生活用水の供給と、快適で住みよい生活環境の向上を図るものです。

また、川内地区におきましても、平成17年度から川内地区統合簡易水道事業を実施中で、水源地、浄水場、配水池等の施設整備や、耐震型の導水管、送水管、配水管の整備を行っています。

犬の登録と狂犬病予防集合注射

平成22年度の犬の登録と狂犬病予防集合注射を、次の日程で実施します。生後90日を経過した犬は、生涯一度の登録と、毎年一回の狂犬病予防注射を必ず受けましょう。

東温市に登録している犬であれば、どの地区でも受けることができます。

登録した犬が死亡した場合は、市民環境課まで届け出てください。

狂犬病予防集団注射は、年に一回行っています。実施期間内に注射を受けられない方は、最寄りの動物病院で必ず受けるようにしましょう。

なお、手続きをしていない病院で実施した場合は、狂犬病予防注射済証を病院から受け取って必ず市民環境課へ持参してください。

■料　金
注射料　2,850円
新規登録料　3,000円

■必要なもの　注射受付票

日	場所		時間
4月15日(木)	井　内	井内西集会所	10：10～10：15
	井　内	井内公民館	10：25～10：30
	則之内	西谷小学校前	10：40～10：55
	則之内	和田丸集会所	11：05～11：25
	南　方	天神集会所	11：35～11：55
	北　方	東中村集会所	13：00～13：10
	北　方	北方東公民館	13：15～13：50
	北　方	上海上旧バス停	13：55～14：00
	北　方	下海上集会所	14：05～14：15
	北　方	西古市集会所	14：20～14：30
4月16日(金)	松瀬川	横灘団地集会所	9：20～9：50
	則之内	えひめ中央農協三内支所	10：00～11：00
	吉　久	吉久集会所	11：10～11：30
	南　方	北八幡集会所	11：40～11：55
	南　方	茶堂集会所	13：00～13：20
	南　方	西中村集会所	13：30～13：40
	南　方	松山市農協川上支所	13：50～14：30
4月20日(火)	山之内	山之内公民館	9：20～9：25
	山之内	荒木谷集会所	9：35～9：45
	山之内	除ヶバス停	9：55～10：05
	山之内	井口公民館	10：10～10：40
	樋　口	樋口集会所	10：50～11：30
	横河原	二本松（横河原駅北）	11：40～11：55
	横河原	愛媛病院入口	13：00～13：10
	志津川	旧重信町役場東駐車場	13：15～13：55
	見奈良	見奈良公民館	14：00～14：30
4月21日(水)	横河原	横河原公民館(水天宮内)	9：15～9：40
	志津川	志津川公民館	9：50～10：30

日	場所		時間
4月21日(水)	志津川	八反地集会所	10：40～11：20
	西　岡	西岡集会所	11：30～11：50
	西　岡	池ノ下集会所	13：00～13：20
	牛　渕	堀池集会所	13：30～13：45
	牛　渕	牛渕集会所	13：55～14：30
4月22日(木)	上　林	湧水集会所	9：15～9：25
	上　林	中筋集会所	9：35～9：45
	上　林	皿ヶ嶺登山口バス停	9：55～10：00
	上　林	上林公民館（上林小前）	10：10～10：20
	上　林	花山集会所	10：25～10：35
	上　林	二ノ瀬集会所	10：45～10：55
	下　林	八幡集会所	11：05～11：20
	下　林	助兼集会所	11：30～11：45
	下　林	伽藍集会所	11：50～12：00
	下　林	別府集会所	13：00～13：10
	下　林	仙幸寺集会所	13：15～13：25
	下　林	宮ノ段集会所	13：35～13：50
	上　村	上ノ段ポンプ蔵置所前	13：55～14：10
	上　村	上村集会所	14：15～14：30
4月23日(金)	田　窪	田窪団地集会所	9：10～9：50
	田　窪	田窪公民館	10：00～10：40
	南野田	南野田公民館	10：50～11：05
	南野田	出作集会所	11：10～11：15
	北野田	新村集会所	11：20～11：35
	北野田	北野田公民館	11：45～11：55
	野　田	野田集会所（ゆるぎ公園内）	13：00～13：30
	西　岡	播磨台団地集会所	13：40～14：00
	見奈良	市役所隣接西駐車場	14：10～14：30

注意事項　※東温市に登録している犬であればどの地区でも受けられます。
※首輪や胴輪がゆるすぎたり、リードから離れて犬が脱走しないよう注意してください。

犬の正しい飼い方は？

犬の放し飼いや長時間の鳴き声、散歩中のフンの不始末は大変迷惑します。散歩をするときは、フン入れ袋を持って出掛け、飼い主の責任で持ち帰り、処理しましょう。

飼い主のいない犬を保護した場合や飼い犬が行方不明になった場合は市民環境課にご連絡ください。

飼い続けられなくなった場合は、自分で新しい飼い主を探しましょう。どうしてもやむを得ない場合は、毎週木曜日午前9時までに市民環境課または川内健康センターにお連れください。ただし、犬猫のみに限りますのでご注意ください。

狂犬病は、犬だけの病気ではなく、人を含めたすべての哺乳類や鳥類に感染します。発症すると治療方法がなく、悲惨な神経症状を示してほぼ100％死亡する極めて危険なウイルス性の人畜共通感染症です。いざというときのために、狂犬病の予防注射は毎年受けるようにしましょう。

■問い合せ先
市役所　市民環境課
（TEL 964・4415）

平成22年度　犬の登録・狂犬病予防集合注射日程表

日	場所	時間
4月13日(火)	明　河　海上バス停	9：40～9：45
	滑　川　生活改善センター	9：55～10：05
	滑　川　郷入口	10：10～10：15
	河之内　土谷公民館	10：25～10：35
	河之内　土谷礼場	10：40～10：45
	南　方　川内支所駐車場	11：00～11：40
	南　方　高木集会所	11：45～11：55
	北　方　町西公民館	13：00～13：20
	南　方　上砂集会所	13：25～13：35
	南　方　南方東集会所	13：45～14：00
	南　方　板戸集会所	14：05～14：15
	南　方　向井川橋南	14：20～14：30
4月14日(水)	河之内　日浦集会所	9：30～9：35
	河之内　奥問屋ごみ集積場前	9：45～9：50
	河之内　白猪滝口バス停	9：55～10：00
	河之内　狩場バス停	10：05～10：15
	河之内　河之内公民館	10：20～10：25
	河之内　下音田ごみ集積場前	10：30～10：40
	則之内　東谷小学校前	10：45～10：55
	則之内　則之内集会所	11：00～11：20
	則之内　永野集会所	11：30～11：40
	松瀬川　三軒屋河崎橋南	11：45～11：55
	松瀬川　三軒屋上バス停	13：00～13：05
	松瀬川　奥松瀬川公民館	13：10～13：20
	松瀬川　五柱神社前	13：25～13：30
	松瀬川　川筋木炭庫前	13：35～13：40
	松瀬川　前松瀬川公民館	13：55～14：05
	松瀬川　西組青年会館	14：10～14：30
4月15日(木)	井　内　大平集会所	9：35～9：40
	井　内　川東集会所	9：50～10：00

アライグマの情報を収集しています！

最近、全国的にアライグマによる被害が急増しています。四国では香川県、徳島県で生息が確認され、特に香川県においては全域で農作物への被害が確認されています。現在、愛媛県は侵入初期の段階と考えられており、もしかしたら東温市にもすでに住み着いているかもしれません。

アライグマは特定外来生物に指定されており、農作物被害や生活被害とともに、在来の生態系へ悪影響を与えるために問題となっています。また、人畜共通感染症を媒介する恐れもあります。

市内でアライグマを見かけたり、その被害に心あたりのある方は情報をお寄せください。

あなたの地域の「桜」を教えてください！

東温市の春を彩る美しい「桜」。

桜は、「市の花」として市民の皆さんに広く親しまれており、市のホームページ等でも紹介していますが、市内には、皆さんお勧めのお花見スポットがたくさんあるのではないでしょうか。

そこで、東温市内の身近な桜の情報を募集し、寄せられた情報を、今後、ホームページやパンフレットなどで紹介することになりました。是非、耳寄りな情報をお寄せください。

東温型農商工等連携プランの実施事業者を募集します

地域資源の活用や農商工等連携による新製品開発や新事業の展開が全国的に進められ、地域活性化の手段として注目されています。

東温市では、農商工等連携による新たな事業展開を支援するため、20名からなる東温市農商工等連携促進協議会を設置し、東温市ならではの農商工等連携の実現を目指し、まず6素材を活用した事業化に参画する実施事業者を募集します。

なお、実施事業者は個人、法人、グループ等を問わず、選定後は、東温市農商工等連携支援チームが、プランの事業化に向けて、外部専門家を派遣するなど、全面的に支援を行います。

創造性と活力に満ちた元気なまちづくりに向けた、皆さんのチャレンジをお待ちしています。

■申込方法
問い合せ先に電話、FAX、メールにて「氏名（社名）、住所、電話番号、担当者名」などをお知らせください。

■申込期限　4月20日㈫

■審　査
予めプラン内容について支援チームがヒアリングを行い、後日、東温市農商工等連携促進協議会において審査を行い、支援の可否をお知らせします。

■内　容
外部専門家を派遣するなど事業化に向けた支援を行います。

■問い合せ先
東温市商工会
農商工等連携支援チーム
（TEL 964・1254）
（FAX 964・3938）
info@toon-sci.or.jp

■6素材の概要

素材名	内　容
麦味噌	愛媛県は、はだか麦の生産が日本一で、本市は県内第2位の生産量を誇っています。このはだか麦を原料とした麦味噌がかつては各家庭で製造されていました。味噌づくりに限らず、幅広い麦素材の活用をお待ちしています。
木材（間伐材）	市域面積の7割以上を占める山林には豊富な木材資源が眠っています。木材価格低迷の中、木材を活用した製品化の取り組みが求められます。
地鶏	愛媛県のオリジナル地鶏「媛っこ地鶏」は、本市では「ほっちょ鶏」の愛称でブランド化を進めています。
かぼちゃ	毎年恒例の『どてかぼちゃカーニバル』は、昨年で25回の開催を数え、日本で最初の『どてかぼちゃカーニバル』といわれています。このかぼちゃのイメージや素材を活用した産品の開発、販路開拓等が検討できます。
米どぶろく	東温市では米麦生産が盛んで、米も食味が良いといわれています。また、平成21年からは市内3軒の農家でどぶろくが製造されており、これらを活用した加工品等の開発も検討可能です。
里芋	観光いもたきでも使用される里芋は、市内でも徐々に生産が拡大されており、これを活用した加工品開発等が期待されます。

入札（にゅうさつ）結果報告

■東温市で執行された入札結果を公表します。
■表記内容【工事（業務）名・落札者・税込落札額】

■2月9日

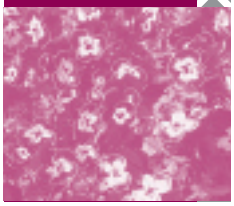
- 重信中学校屋内運動場トイレ改修工事
  藤岡萬建設㈲…7,224,000円
- 庁舎・防災センター定期清掃業務
  佐伯ビル管理㈱…202,650円
- 東温市排熱有効利用詳細ビジョン報告書作成業務
  ㈲有光印刷…283,500円
- 職員西駐車場補修工事
  ㈲フジケン…2,205,000円

■2月23日

- 小・中学校管理用デジタルテレビ等購入
  ㈱ヤマダ電機　法人営業部　松山営業所…1,403,535円
- 消防団防火服購入業務
  ㈱ヤマダ…2,491,650円

掲載【平成22年2月9日～3月2日入札実施分】

花と緑の祭典 第45回 えひめ花まつり 開催!!



花と緑の祭典「えひめ花まつり」が、今年も愛媛県農林水産研究所花き研究指導室で開催されます。

色とりどりの可憐な花々が、皆さんのご来場をお待ちしています。是非、お越しください。

この花まつりにあわせて、9月12日開催予定の「どてかぼちゃカーニバル」に出品していただく方に、どてかぼちゃの苗を無料配布しますので、生育・出品に挑戦してみたい方はお持ち帰りください。なお、どてかぼちゃの苗は、無くなり次第終了しますので、ご了承ください。

■日　時
5月3日㈪　9時～17時
5月4日㈫　9時～16時

■会　場
愛媛県農林水産研究所
花き研究指導室
（東温市下林2210-1）
※会場は、旧・愛媛県花き総合指導センターになります。

■問い合せ先
えひめ花まつり
愛媛県農林水産部
農産園芸課野菜・花き係
（TEL912・2570）
どてかぼちゃカーニバル
市役所　農林振興課内
東温市青年農業者協議会
事務局
（TEL964・4409）

祝 “とうおんどぶろく”が全国どぶろくコンテスト入賞!!

2月13日、14日の両日、山形県舟形町で第5回全国どぶろく研究大会が開催されました。この大会は全国のどぶろく特区蔵元や関係者が一堂に会するもので、約250名余の参加者でにぎわいました。

大会の目玉である「全国どぶろくコンテスト」に東温市から出品した「とうおんどぶろく」3銘柄の一つ「どぶろく　ながい」が、濃醇の部で優秀賞を受賞しました。このコンテストには、北は北海道から南は熊本県まで各地の自慢のどぶろく63銘柄が出品され、淡麗の部と濃醇の部の2部門にわかれて審査が行われるものです。

参加した他のどぶろく製造者からは、「醸造を始めて1年足らずで受賞できるとはたいしたものだ。」「どぶろくは本来北国の飲物であるが、南国のどぶろくが入賞するのはめずらしい。」といった意見があり、南国・愛媛にも「おいしいどぶろくあり」と印象付けられました。

全国どぶろく研究大会は東北地域で開かれていましたが、平成23年度の第7回大会は東温市での開催が決定しました。

これからも「とうおんブランド」を牽引する「とうおんどぶろく」に期待が高まります。

優秀賞を受賞した「どぶろく　ながい」

Camera Sketch

カメラスケッチ

まちの話題をカメラでスケッチします

市民健康マラソン大会
走ることの楽しさを実感

冬のスポーツの代名詞といえばマラソン。東京マラソンや今年リニューアルした愛媛マラソンなど、全国各地でさまざまなマラソン大会が開催されています。

昨年、東温市に誕生した冬のスポーツイベント「東温市民健康マラソン大会」が、2月22日、重信川緑地公園をスタート・ゴール地点に開催されました。これは、マラソンを通して市民の健康と体力向上を図ろうと実施されたもので、速さを競う4キロコースと健康・親子マラソンの2キロコースなど、年齢や性別に応じてだれでも参加できるように工夫されています。

今年の愛媛マラソンで5位入賞した磯金逸人さん（東温市消防署）への感謝状の贈呈で始まった大会は、去年の204名を大きく上回る278名の市民ランナーや家族連れが参加。走ることの楽しさや完走することの喜びを実感しながら走るその姿に、河川敷のコース周辺では温かい声援が響いていました。

4キロコース入賞者　（敬称略）

小学生男子	1	露口幸将	2猿渡陸斗	3和田拓真
小学生女子	1	柏祐美子	2村上礼奈	3津川広子
中学生男子	1	野中健史	2井上貞史	3松本和樹
中学生女子	1	松岡美祈	2早崎　萌	3浜田灯里
一般　男子	1	磯金逸人	2笠井誉久	3今井幹也
一般　女子	1	甲谷秀子	2徳本真矢	3土岐誠子

重信中学校　職場体験学習
未来の夢にチャレンジ

2月10日、中学生がさまざまな職場を訪問し、実際に働くことの意義や大切さを学ぼうという職場体験学習が行われました。この日は、重信中学校の2年生193名が市内外の50の事業所のなかから自分の希望する職場を訪問。東温市消防署では、11名の未来の消防士の卵が、署員から消防の仕事について説明を受けたあと、救助訓練の一環としてのロープ渡りや現場装備を着装した放水訓練などを体験し、未来の夢へ向けた気持ちを新たにしていました。

西谷小学校と東谷小学校でシイタケ作り

森を守り　シイタケを育てる

3月1日、西谷小学校と東谷小学校で森林保全をテーマとした体験学習が実施されました。この体験学習は、地域の林業を子どもたちに学んでもらおうと、中予地方局森林林業課と森林組合が協力して毎年行っているものです。午前中に行われた西谷小学校の体験学習では、森と海とのつながりや林業の大切さについて説明を受けた児童が班別にわかれて作業を開始。講師の指導を受けながら、100本もの原木へドリルで穴をあけ、シイタケの埴菌に奮闘していました。

上林小学校が市議会を傍聴

議会と行政の仕組みを学ぶ

東温市議会は、市民から選ばれた18名の議員で構成され、市長から提案された予算や条例などいろいろな案件を審議しています。3月5日、上林小学校の5・6年の児童10名が社会科授業の一環として市議会を傍聴しました。市役所に到着した児童は、議会の役割や仕組みについて職員から説明を受けた後、真剣な面持ちで本会議場へ移動。3月定例会の様子を傍聴席から真剣に見学し、行政と議会の仕組みについて直接目で触れて学習していました。

川内さくらクラブ
ウィンターフェスティバル

スポーツで広がる地域の交流

2月14日、総合型地域スポーツクラブの川内さくらクラブが主催するウィンターフェスティバルが川内中学校で開催されました。これは、スポーツを通して地域の交流を深めようと、毎年この時期に行われているものです。さくら夢太鼓夢童の演奏で幕を開けたイベントは、愛媛ＦＣコーチによるサッカー教室や愛媛信用金庫テニス部のテニス教室、松山フェニックスの指導による野球教室など盛りだくさんな内容で、心配された雨も吹き飛ばす熱気にあふれていました。

青野令選手パブリック・ビューイング

勇気と感動をありがとう

日本中の注目を集めたバンクーバーオリンピック。2月18日、スノーボード男子ハーフパイプに出場した青野令選手を応援しようと「パブリック・ビューイング」が開かれました。会場となったアクロス重信3階の特設会場には、午前6時という早朝にもかかわらず、愛媛県人として初めて冬の五輪に出場した青野選手を応援しようと多くのファンやサポーターが詰めかけ、ヒートアップ状態。高さを生かしたダイナミックなジャンプを決めるたびに、大歓声が上がっていました。

北吉井幼稚園で「おさかなキャラバン」

本物の魚って　面白い！

2月9日、北吉井幼稚園に「おさかなキャラバン隊」がやってきました。これは、小さい頃から魚に対する親しみを持ってもらい、魚の消費拡大や漁業の振興につなげようという取り組みです。当日は、魚に関する研修を受けたボランティアの「おさかなキャラバン隊」が、紙芝居や大掛かりなセットの人形劇を実演。その後行われた実際に魚をさばくコーナーでは、興味津々の子どもたちが歓声を上げながら本物の魚に触れ、感触や形の違いなどを肌で感じていました。

東温市ソフトボールフェスティバル '10

国体に向けた全国レベルの大会

2月13、14日の2日間、東温市総合公園グラウンドをはじめとする市内３会場に東温高校をはじめとする全国のソフトボール強豪校16チームが集結しました。この東温市ソフトボールフェスティバルは、2017年に開催される愛媛国体に向けてソフトボール競技を誘致しようと市体育協会等が主催しているものです。会場には、全国トップレベルの選手たちのプレーを観戦しようと多くのファンが訪れ、白熱した好ゲームに盛んな拍手が送られていました。

ごみ袋もって泉てくてくめぐり

貴重なオアシスを大切に守る

重信川周辺の泉は、江戸時代にかんがい用水として開発されたもので、私たちの暮らしの一部として脈々と引き継がれています。貴重な動植物のオアシスでもあるこれらの泉を大切にしようと2月16日、「水をきれいにする会」が清掃活動を行いました。午前9時30分、市役所に集合したメンバーは、ごみ袋を片手に泉てくてくめぐりに出発。午前中に柳原泉から森の木泉、午後からは三ケ村泉をめぐりながら、ペットボトルや空き缶などのごみを集め、心地よい汗を流しました。

川内中学校で車いす贈呈式

地道な取り組みで福祉に貢献

3月3日、アルミ缶回収運動で得た収益金で車いすを購入し市内の福祉施設へ贈る「車いす贈呈式」が、川内中学校で開かれました。この取り組みは、平成14年度から生徒会の活動として始まったもので、今回を含め11台の車いすを福祉施設へ寄贈。現在では、川内郵便局へもドラム缶2台を設置し、地域住民の協力も受けています。全校生徒が見守るなか、生徒会役員から「希望の館」と「ガリラヤ荘」の関係者に車いすが贈呈されると、大きな拍手が起こっていました。

森林ボランティア

自然と親しみ　森に学ぶ

東温市では、市民参加の森林づくりの輪を広げるためボランティアによる林業体験事業を行っています。2月20日、塩ヶ森ふるさと公園に約30名の市民が集合し、林業体験を通して自然と親しみ、森に学ぶ活動に汗を流しました。中学生から高齢者までという幅広い年代が集まった今回のボランティア作業では、森林組合の職員の指導を受けながら、ヒノキの間伐作業を体験。作業が終了すると森林組合事務所に用意された手作りのおにぎりを食べながら、森の持つ魅力について感想を発表していました。

高齢者交通安全教室

ルールとマナーを守って交通安全

高齢者が被害にあう交通事故が後を絶ちません。2月9日、松山南交通安全協会の川上支部と三内支部が合同で主催する高齢者を対象とした交通安全教室が川内公民館で開かれました。警察官の交通講話で始まった教室では、安全協会指導員による腹話術や反射材の体験実習のほか、交通安全教育車「ふれあい号」での適性検査も行われ、参加者は実際の体験を通して交通ルールとマナーをしっかりと守り、交通事故の当事者にならないよう交通安全への意識を高めていました。

上林地区で多世代ふれあいハイキング

化石から地域の魅力を再発見

冬晴れの2月21日、上林地区で「多世代ふれあいハイキング」が行われ、世代を超えた住民が地域の魅力を再発見しました。これは、独自の地域づくりに取り組む「上林を考える会」が主催したもので、2年前から毎年テーマを変えて行われているハイキングです。午前9時、上林公民館に集合した参加者は、片道2.5キロメートルの山道を歩き、今年のテーマである「化石」の採掘現場に到着。金づちを使って石を砕き、化石を採取し、午後からは化石の管理の仕方や上林地区の地層など興味深い話に耳を傾けていました。

SPRING FESTIVAL TOHON

若い感性と練習の成果を発表

2月15日、坊っちゃん劇場で「SPRING FESTIVAL TOHON（スプリング・フェスティバル・トウオン）」と題したイベントが開催されました。これは、今年で5回目を迎えた東温高校の芸術文化発表会のことで、平成19年からは、毎年、坊っちゃん劇場を舞台に行われています。縁起太鼓と櫟獅子で幕を開けたフェスティバルは、放送部やダンス部、演劇部など、文化サークルの生徒たちが若い感性と練習の成果を次々と発表していました。